

(様式4)

経理的な基礎に関する状況

1 貸借対照表の要旨

区分		直近の前々事業年度	直近の前の事業年度	直近の事業年度
事業期間		(自) 年 月 日 (至) 年 月 日	(自) 年 月 日 (至) 年 月 日	(自) 年 月 日 (至) 年 月 日
資産	流動資産			
	固定資産			
	繰延資産			
資産合計				
負債	流動負債			
	固定負債			
	負債合計			
純資産	資本金			
	資本剰余金			
	資本準備金			
	その他資本剰余金			
	利益剰余金			
	利益準備金			
	その他利益剰余金			
	自己株式			
	評価・換算差額等			
純資産合計				
負債及び純資産合計				

2 損益計算書の要旨

区分	直近の前々事業年度	直近の前の事業年度	直近の事業年度
売上高			
売上原価			
売上総利益			
販売費及び一般管理費			
営業利益			
営業外利益			
営業外費用			
経常利益			
特別利益			
特別損失			
税引前当期利益			
法人税等充当額			
税引後当期利益			

3 自己資本比率及び経常利益金額等

区分	直近の前々事業年度	直近の前の事業年度	直近の事業年度
自己資本比率 (%)			
経常利益			
減価償却費			
経常利益金額等			

※経常利益金額等とは、損益計算書上の経常利益の金額に当該損益計算書上の減価償却費の額を加えて得た額

4 経営管理実施権の設定を受けて行う事業の経理を他の事業の経理と分離して計上する方法について、具体的に記載してください。

例

(簿記1級や2級の資格を取得した会計職員がいる、会計ソフトを導入している、林産業と木材加工の分野で区分経理の実績がある等)

5 その他